

Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

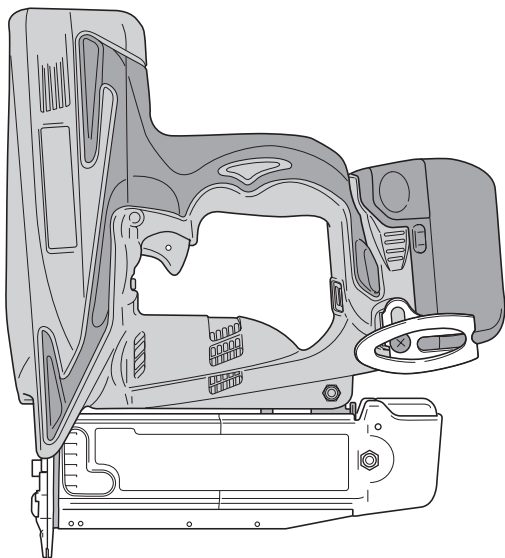
用途

●建築内装の巾木・回り縁などの化粧合板止め

日立 コードレスピン釘打機

14.4V NP 14DSL 18V NP 18DSL

このたびは日立コードレスピン釘打機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



NP 14DSL

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
仕様	10
別売部品	11

はじめに

電池残量表示について	11
LEDライトの使い方	12
フックの使い方	12
充電する	13
ご使用前の点検・準備	15
釘の装てん	17
釘の抜き取り方	18
空打ち防止機構について	18
ピン釘を打つ	19
釘の取扱い方	20

使い方

保守・点検	21
故障かな…というときは	24
ご修理のときは	裏表紙

その他

HITACHI

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0℃未満、または温度が 40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具体体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具体体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の内車など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具体体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具体体を使用してください。**
 - 小形の工具体体やアタッチメントは、大形の工具体体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスピン釘打機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **保護メガネを使用してください。**
 - 作業中は保護メガネを使用してください。
 - まわりの人にも保護メガネをかけさせてください。

釘を連結している接着剤や打ち損じの釘が目にあたると、けがの原因になります。
- ② **騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。**
- ③ **作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。**
- ④ **蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。**
 - ねじがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。
 - プッシュレバーを引き出して上下させたとき、スムーズに動くこと。
 - 引き出したプッシュレバーがもとの位置に戻ることに異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑤ **蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。**
 - プッシュレバーの先に触れたり、対象物に当たった状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。

誤って釘が発射した場合、けがの原因になります。
- ⑥ **使用前に安全装置の点検をしてください。**

この機体は、射出口を打ち込み対象物に当て、さらにスイッチを引かないと、釘が発射されない構造になっています。

釘を装てんする前に、蓄電池を取付け、マガジンを開いて次の点検をしてください。

 - スwitchを引いただけで、モーターが作動しないこと。

異常のあるまま使用すると、けがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑦ **作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
- ⑧ **使用中は、工具本体を確実に保持してください。**
- ⑨ **釘を打ち込む材料の裏側に、手や身体を置かないでください。**
 - 釘が突き抜けたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。

⚠ 警告

- ⑩ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で使用しないでください。
- 釘を打ち込むときの火花による爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑪ 次の場合は、スイッチを切り、蓄電池を工具体から抜いてください。
- 使用しない場合や作業中断時、修理する場合。
 - 点検・修理・調整、釘づまりの直しなどの場合。
 - 釘を装てんする場合。
- 誤って釘が発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑫ 作業中はまわりの人に注意してください。
- 釘を連結している接着剤やテープの破片、打ち損じた釘が当たる恐れがあります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
- 機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑬ 薄い板や木材の端に釘を打たないでください。
- 薄い板に打つと釘が突き抜けたり、木材の角に打つと釘がそれたりして、けがの原因になります。
- ⑭ 機体の反発に注意してください。
- 硬い所に打った場合、機体がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。
- ⑮ 壁の両側から同時に釘打ち作業をしないでください。
- 打った釘が突き抜けたり、壁ぎわの釘がそれたりして、けがの原因になります。
- ⑯ 屋外での作業は、次のことに注意してください。
- 屋根などの斜面で釘を打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
- 後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。
- 床などの水平面で釘を打つときは、前進しながら作業してください。
- 後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
- 壁などの垂直面に釘を打つときは、上から下へ作業してください。
- ⑰ 誤って落したり、ぶつけたときは、必ず、蓄電池を取りはずして機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 特に次の点に注意してください。
- プッシュレバーを引き出して上下させたときスムーズに動くこと。
 - 引き出したプッシュレバーがもとの位置に戻ることを。
- ⑱ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
- 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。
- ⑲ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑳ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ㉑ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NK仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなると (BSL 1430 / BSL 1440 の場合：電池電圧 8 V まで低下、BSL 1830 / BSL 1840 の場合：電池電圧 10 V まで低下) モーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。
- ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品 (ねじ、釘など) とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

はじめに

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。



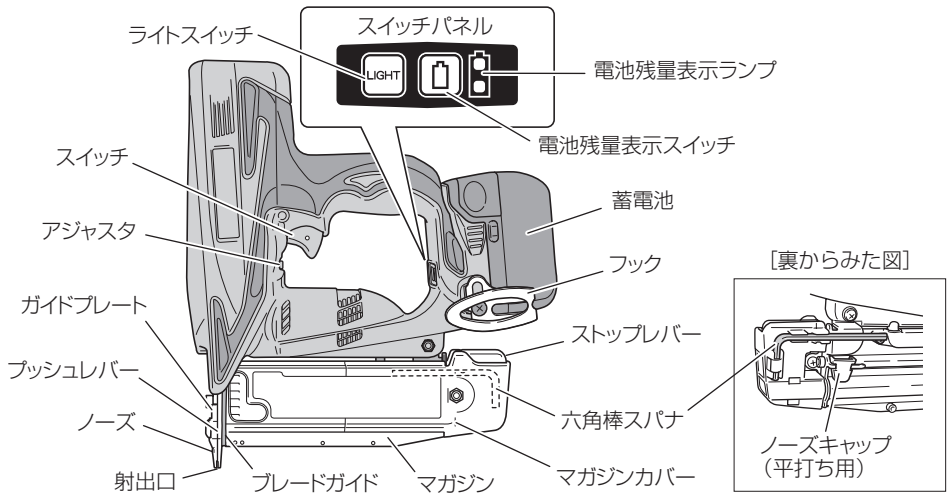
○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

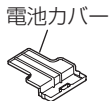
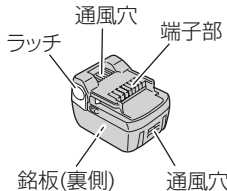
工具本体

【イラストはNP14DSLです】

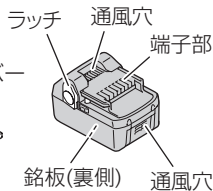


蓄電池

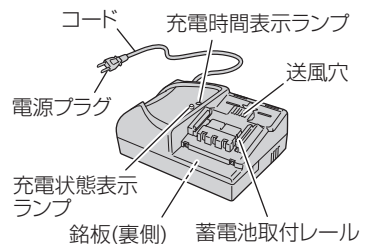
14.4V (BSL1430)
(BSL1440)



18V (BSL1830)
(BSL1840)



充電器



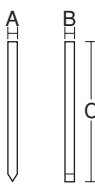
標準付属品

品名・形名	工具本体 仕様	NP 14DSL			NP 18 DSL		
		LSCK	LLCK	NK	LSCK	LLCK	NK
蓄電池※		BSL 1430 1個	BSL 1440 1個	—	BSL 1830 1個	BSL 1840 1個	—
充電器 UC 18YSL 2		1台	1台	—	1台	1台	—
ノーズキャップ (平打ち用) ※		2個	2個	2個	2個	2個	2個
六角棒スパナ 4 mm※		1個	1個	1個	1個	1個	1個
保護メガネ		1個	1個	1個	1個	1個	1個
収納ケース		1個	1個	1個	1個	1個	1個
電池カバー		1個	1個	—	1個	1個	—

※ 本体に取付けてあります。

仕 様

1. 工具本体

形 名	NP 14DSL		NP 18DSL		
能 力 (使用ピン釘)	(寸法単位：mm)				
	形 状		A	B	C
			0.6	0.6	15
					19
					25
					30
					35
					45
釘の装てん数100本（1連）					
モーター直流モーター					
蓄電池円筒密閉形リチウムイオン電池					
電池電圧14.4V			18V		
工具本体寸法249mm×275mm×83mm 全長×全高×センチメートル (蓄電池装着時)			249mm×275mm×83mm (蓄電池装着時)		
質 量2.2kg（蓄電池装着時）			2.3kg（蓄電池装着時）		
LEDライト			白色LED		
残量表示ランプ			赤色LED		

2. 充電器

形 名	UC 18YSL2
入 力 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間 [気温 20℃時]	BSL 1440 / BSL 1840 …約 30 分 BSL 1430 / BSL 1415 / BSL 1830 …約 22 分
充 電 電 圧	14.4V - 18V
充 電 電 流	BSL 1440 / BSL 1840 / BSL 1430 / BSL 1830 : 7.5 A BSL 1415 : 3.5 A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.7 kg
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃
冷 却	対応 (ファン付き)
ブザー音	あり

3. 蓄電池

形 名	BSL 1430	BSL 1830	BSL 1440	BSL 1840
容 量	3.0 A h {3000 mA h}		4.0 A h {4000 mA h}	
冷 却	対応			

別売部品（別売部品は生産を打ち切場合がありますので、ご了承ください。）

この釘打機は、右の表に示すピン釘が使用できます。

釘は100本が1連に接着されています。

釘の頭の色は、茶とベージュの2色があります。

下地材に合わせてご使用ください。

注 釘は日立純正ピン釘をご使用ください。

純正以外のピン釘を使用すると釘づまりすることがあり、故障の原因になります。

形状	形名	寸法(mm)		L寸法 (mm)	材質	表面
		a	b			
	P 0615 B	0.6	0.6	15	鉄	茶
	P 0615 Y					ハニージュ
	P 0619 B			19	鉄	茶
	P 0619 Y					ハニージュ
	P 0625 B			25	鉄	茶
	P 0625 Y					ハニージュ
	P 0630 B			30	鉄	茶
	P 0630 Y					ハニージュ
	P 0635 B			35	鉄	茶
	P 0635 Y					ハニージュ
	P 0645 B			45	鉄	茶
	P 0645 Y					ハニージュ

電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

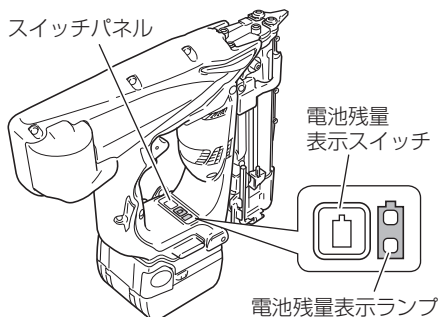
ランプの 点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。 早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠ 注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
故障の原因になります。

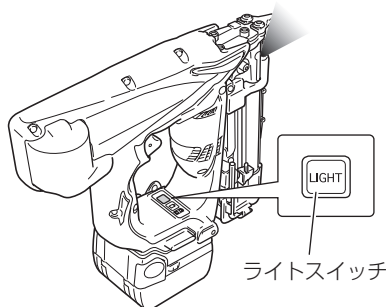
注 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。



LEDライトの使い方

⚠ 注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。



注 LEDライト消し忘れによる電池の消耗を防止するため、約15分経過すると自動で消灯します。

スイッチパネルのライトスイッチを押すたびにLEDライトが点灯・消灯します。
蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。

フックの使い方

フックは、作業の合間に腰のベルトなどに吊下げる機能を持っています。
フックの取付け向きを替えるときは、次の手順で付け替えてください。

⚠ 警告

- フックを使用するときは、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

使用例



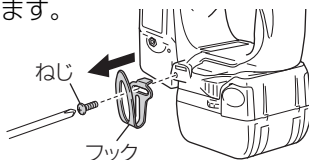
⚠ 注意

フックはしっかりと取付けてください。
フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

1

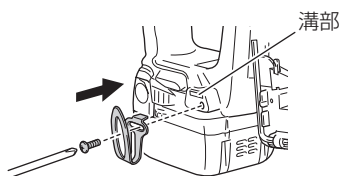
フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2

付け替えてねじを締め付ける



はじめに

使い方

充電する

ご使用の前、新品時、長期間で使用にならなかったとき、
残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V用です。
200 V電源に接続すると、充電器が
異常に発熱し、故障します。
また、直流電源、エンジン発電機、昇
圧器などのトランス類で使用しないで
ください。

2 コンセプトを確認する

コンセントがガタついたり、
電源プラグが抜け落ちてしまうときは、
接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグを コンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P14「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む



- 蓄電池を右図に示す線が見えるまでしっかりとさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤／橙／緑の

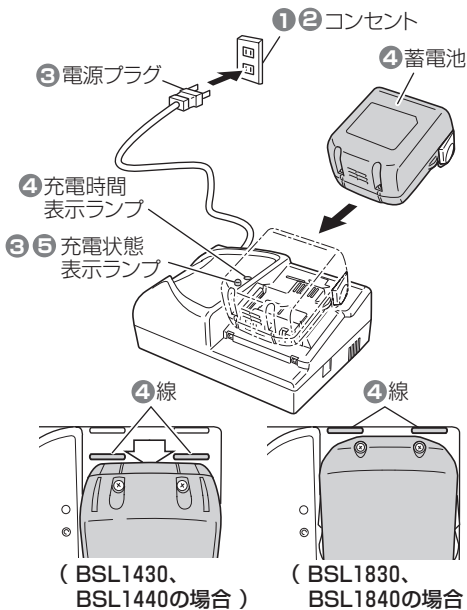
いずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

 警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間

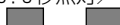
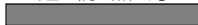
BSL1430/BSL1830 : 約22分

BSL1440/BSL1840 : 約30分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついています。各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30分
	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20分
	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5分
	赤点滅	0.3秒点灯／0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	緑点灯	連続点灯 	充電完了
	橙の速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に異常があります。 (下記参照)

- 注** ● 橙の速い点滅 (0.1 秒点灯／0.1 秒消灯) を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 2 秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。
異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- 一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
 - 炎天下での使用や使用直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電してください。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
 - 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
 - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつかた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○ 新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物 (蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます) は、安全性や製品に関する保証はできません。

ご使用前の点検・準備

●釘の準備と安全点検

⚠ 警告

- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 子供など作業者以外は近づけないでください。
- ねじ類がゆるんでいないことを、十分に点検してください。
- 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に動作しない部品がないことを点検してください。

用途に合った釘を準備してください。(P11「別売部品」参照)
P21「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。

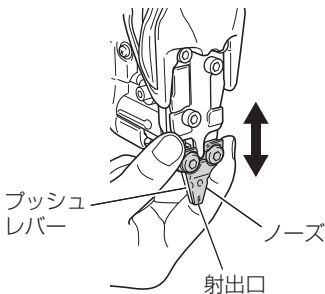
●プッシュレバーの動作確認

ノーズ部を上下させ、プッシュレバーとノーズがスムーズに摺動することを確認してください。

動作が悪いときは、プッシュレバーの摺動部を清掃してください。

⚠ 警告

プッシュレバーの動作を確認するときは、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。



●ノーズキャップの使い方

化粧合板などのやわらかい材料にピン釘を打つときは、ノーズにノーズキャップを取付けます。

材料の表面をノーズで傷付けるのを防止できます。

⚠ 警告

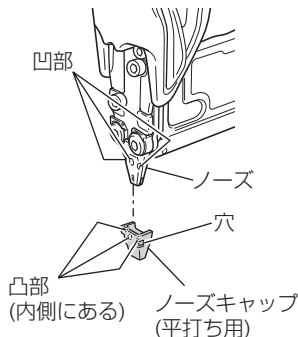
ノーズキャップの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。

ノーズキャップの取付け・取りはずし

ノーズキャップはノーズに押し込むだけで取付けできます。ノーズキャップの穴部を機体の前方にして、凸部（3箇所）がノーズの凹部（3箇所）に合うように取付けてください。

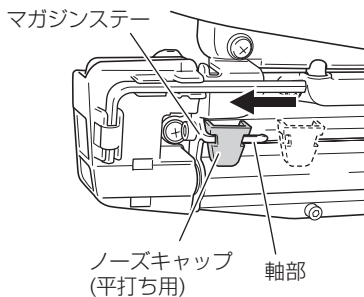
取りはずすときは、ノーズキャップを指で引っ張り、取りはずします。

取りはずしにくいときは、ノーズのすき間にマイナスドライバーなどの細い棒を入れ、取りはずします。



ノーズキャップの保管

取りはずしたノーズキャップは、穴部をマガジンスターの軸部にさし込んで保管してください。



釘の装てん

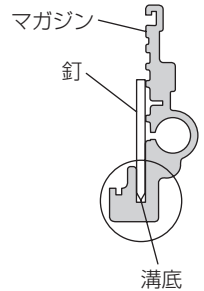
⚠ 注意

釘の装てん・抜き取りの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。

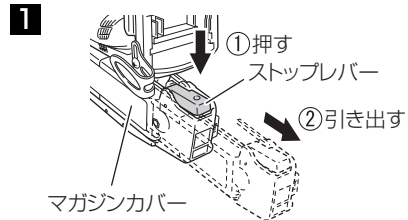
注 • 釘は 20 本以上連結されたものを使用してください。

この機体は、釘の残り本数が約 11 本以下になると、空打ち防止機構が作動する構造です。(右ページ参照)

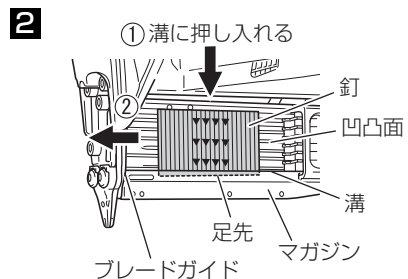
- 長さの違う釘を同時に装てんしないでください。
- 連結本数の少ない釘を、一度に数連装てんしないでください。
釘づまりなど、不具合の原因になります。
- 本機は 15 mm から 45 mm までの長さの釘が使用できます。
いずれの長さの釘も足先をマガジン下部の溝底に突き当ててください。(右断面図参照)



- 1** ①ストップレバーを軽く押します。
②マガジンカバーを静かに引き出します。



- 2** ①釘をマガジンの凹凸面に押し当て、釘の足先をマガジンの溝の奥までしっかりと入れます。
②マガジン内の釘を指でブレードガイドの中へ押し込みます。



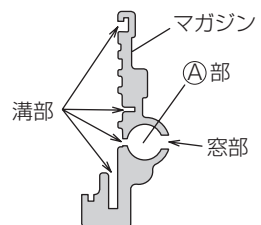
- 3** マガジンカバーの後部を前方に押して、釘がマガジンの凹凸面から浮き上がらないことを確認しながら、もと通りに閉じます。

注 • マガジンカバーは静かに閉めてください。

強く閉めると、釘の連結が変形して、マガジンカバーが閉まらないことがあります。

- マガジンカバーが閉まりにくいときは、マガジンの各溝部を点検してください。

溝部に釘が侵入している場合があります。釘が侵入している場合は、機体を傾けたり、精密ドライバーのような細い棒を用いて取除いてください。とくに、断面図の(A)部に釘が侵入したときは、マガジン背面側の窓部から釘を取り出してください。(右断面図参照)



釘の抜き取り方

- ① ストップレバーを押して、マガジンカバーを引き出します。
- ② 釘をブレードガイド、またはマガジン内から抜き取ります。

- 注**・ブレードガイド内で連結が切れてしまうと、手前の釘を取除いた後に釘が残ってしまうことがあります。
- ・ブレードガイド内に残った釘は見えにくいので、注意して確認してください。
 - ・釘づまりして釘が抜き取れないときは、P 21「釘づまりの直し方」を参照してください。

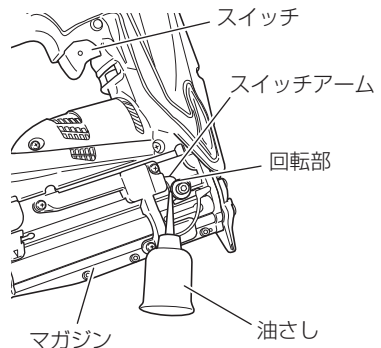
空打ち防止機構について

この釘打機は釘がなくなったあとの空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えています。釘が約 11 本以下になると、引金が引けなくなります。

また、釘を 1 連打ち終わると約 11 本の釘が残りますが、同じ長さの釘を後ろから装てんすれば、続けて釘を打つことができます。

スイッチアームの動作点検手順

- ① 誤動作による事故防止のため、必ず蓄電池を本体から抜いてください。
- ② マガジンカバーを開いて、残っているピン釘をすべて抜いてください。
- ③ マガジンカバーを徐々に閉めて行き、閉めきる手前 1 cm 程度のところで、スイッチアームがわずかに動くのを確認します。
- ④ 動かないときは、スイッチアーム周辺にごみや異物がないか確認してください。また、回転部に機械油を 1 滴程度さして動きを良くしてください。
- ⑤ 最後に、11 本以上連結されているピン釘をマガジンに装てんして、マガジンを閉めたとき、スイッチアームが動かないことを確認してください。



ピン釘を打つ

● 建築内装の巾木・回り縁などの化粧合板止め

⚠ 警告

- 人体に射出口を向けないでください。
- 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
- 一度打った釘の上に、再度釘を打つことはしないでください。
- 使用しない場合や作業中断時は、蓄電池をはずしてください。
- 作業終了後は、蓄電池をはずしてから、釘を全部抜き取ってください。

1

蓄電池を取りはずす

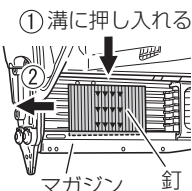
動作防止のため、蓄電池を工具本体より抜いてください。



2

釘を装てんする

用途に合った寸法のピン釘をマガジンに装てんしてください。



(P 17 「釘の装てん」参照)

3

ノーズキャップを取付ける

必要に応じてノーズキャップを取付けます。



(P16「ノーズキャップの使い方」参照)

注

• 低温時に使用すると、機体の動作が悪くなることがあります。

暖かい場所に移動して本体および蓄電池を少し温めるとご使用になれます。

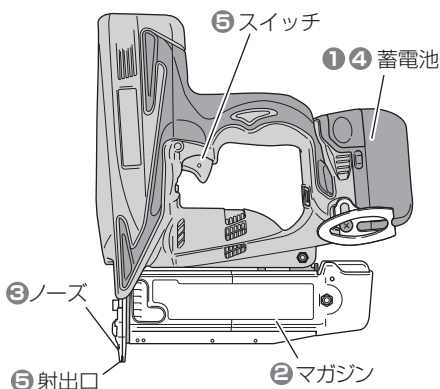
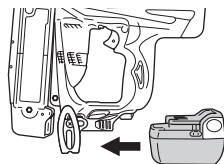
• フロア材や、床材止めに使用しないでください。

釘が浮いた場合など、誤ってふんだ場合、けがの原因となります。

4

蓄電池を取付ける

右図の向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



安全装置について

この機体は、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当て、スイッチを引かなければ釘は発射しません。

したがって、スイッチを引いただけのとき、または、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけでは、釘は発射しません。

これは、誤ってスイッチを引いたり、プッシュレバーを押し当てただけで釘が発射されることを防ぐためです。

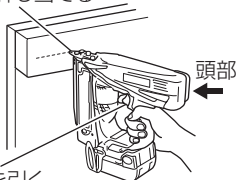
5

ピン釘を打つ

(左ページの **安全装置について** 参照)

- 釘を打つ所に射出口を確実に押し当ててスイッチを引きます。

①射出口を押し当てる



②スイッチを引く

- 釘の打ち込みが不完全なときは、本機の頭部をしっかり押さえて打ち込んでください。
- 釘の打ち込み深さ調整は下の「打ち込み深さの調整」を参照してください。



警告

- スイッチを引くときは、他の指でブッシュレバーなどを固定しないでください。
誤って釘が発射した場合、けがの原因になります。
- 使用しない場合や作業中断時、使用後はスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。

6

作業を終了する

作業後は、蓄電池を本体から抜いてから、釘を全部抜き取ってください。

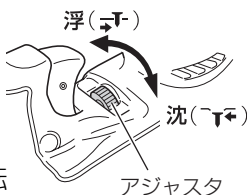
注 材料の硬さ・厚さ・組合わせによっては釘が曲がる場合や材料が割れる場合がありますので、試し打ちして確認の上、ご使用ください。

●打ち込み深さの調整

この機体は、アジャスタを回すことにより、打ち込み深さを調整できます。

試し打ちし、釘が沈みすぎるときは、アジャスタを浮く方(マーク ↑)に回します。

釘の頭が浮くときは、アジャスタを沈む方(マーク ↓)に回します。

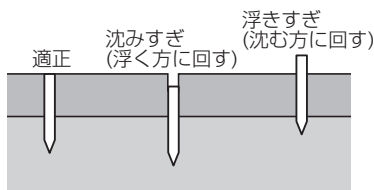


アジャスタは、1回転させるごとに0.75mm移動します。



警告

アジャスタを調整する際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。



釘の取扱い方

注 釘は、ていねいに扱ってください。

落とすと、連結部が切れることがあり、そのままの状態で使用すると釘送り不良により、空打ち、釘づまりなどが発生することがあります。連結部が切れた釘は使用しないでください。

釘は長時間外気や直射日光にさらさないでください。

さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があります。釘梱包箱などに入れて保管してください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

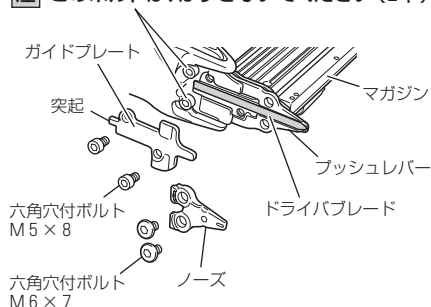
●釘づまりの直し方

- ① 蓄電池を本体から抜き取り、マガジンに入っている釘を全部抜いてください。
(P 18「釘の抜き取り方」参照)
- ② マガジン後部に収納してある六角棒スパンを使用してノーズ、ガイドプレートははずします。

注 図示のボルト(2本)は、はずさないでください。

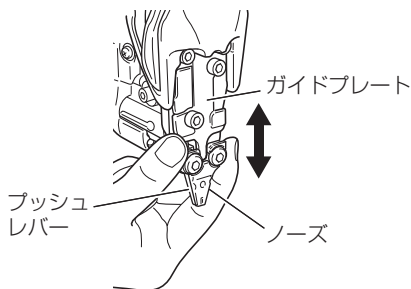
- ③ プッシュレバーやブレードガイドの案内溝につまった釘、接着剤、破片、木くずなどを取除いてください。(下表参照)

注 このボルトは、はずさないでください(2本)



ドライバブレードの位置	つまった釘の取除き方
[ブレードガイド側]	(1) マイナスドライバー等でドライバブレードを反らせる。 (2) ペンチで釘を取除く。 (3) 案内溝内に残っている釘の破片やごみをマイナスドライバー等で取除く。
[プッシュレバー側]	(1) ペンチで釘を取除く。 (2) 案内溝内に残っている釘の破片やごみをマイナスドライバー等で取除く。

- ④ ガイドプレートとノーズを取付けます。
ガイドプレートの突起を案内穴に挿入し、六角穴付きボルトM5 X 8で固定します。(ガイドプレートの突起が挿入しにくい場合は、ドライバーの柄等で軽くたたいて挿入してください)
- ⑤ 組立て後、プッシュレバーとノーズを引き出してスムーズに上下することを確認します。
つまった釘が残っていると、スムーズに動かない場合があります。
その場合は、もう一度①からやり直してください。



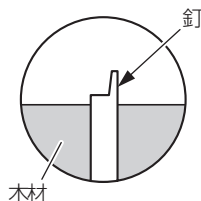
●ドライバブレードの点検

この機体のドライバブレードは消耗部品です。

釘の打ち込み後、右図のような釘浮きが多く出る(100本に2～3本)場合は、ドライバブレードの交換時期となります。

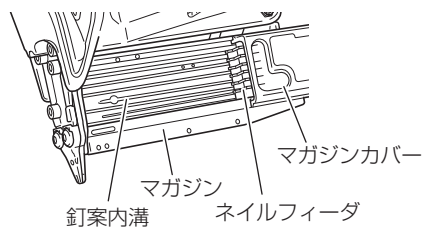
このまま使用していると、プッシュレバーやノーズなど、他の部品が破損する恐れがありますので、早めに交換してください。

ドライバブレード交換の際は、お買い求めの販売店に依頼してください。



●マガジンの点検

マガジン内をとときき掃除してください。
マガジンカバーを引き出して、溝の中にたまった釘の接着剤、ごみ、木くずなどを取除いてください。



注 釘案内溝が汚れると、釘を送るネイルフィーダの動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。
空打ちが多発するときは、釘案内溝にたまった釘の接着剤、木くずなどを取除き、付属の油を全体にうすく塗布してください。

●取付ねじの点検

工具本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締め直してください。

●お手入れする

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

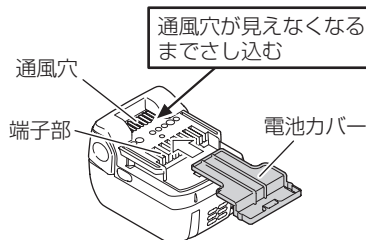
●蓄電池について

- 注** 長期間（3ヶ月以上）蓄電池を保管するときは、満充電にして保管してください。長期間、電池残量が少ない状態で保管すると、使用する際に充電できなくなる恐れがあります。

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケース等に保管するときは、ケース内に導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池力バーを取付けて保管してください。



故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
充 電 器	充電ランプが 点灯しない	電源プラグがコンセントにさし込まれていない	電源プラグをコンセントにさし込んでください。	P13
		蓄電池が充電器に確実にさし込まれていない	蓄電池が充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。	P13
		蓄電池または充電器の充電端子が汚れている	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		蓄電池が高温である	蓄電池を十分に冷ましてから充電してください。	P14
	橙の速い点滅を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約2秒鳴る	蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取除いてください。	P14
		蓄電池または充電器の異常	電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にお問い合わせください。	P14
本 体	釘を打たない	蓄電池の残量がない(電池残量警告ランプが点灯しない)	充電器で蓄電池を充電してください	P13
		蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具体の電池挿入口から異物が混入していないか確認してください。また、蓄電池の端子部に汚れ等が付着していないか確認してください。蓄電池は「カチッ!」と音がするまで確実にさし込んでください。	P19
		本体の異常	お買い求めの販売店にお問い合わせください。	—

	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
本 体	釘が浮く	材料が硬い	材料の硬さによっては、打てない場合があります。	P20
		本体が反動している	釘を打つ所に射出口をしっかりと押し当ててください。	P20
		ドライバブレードが摩耗している	お買い求めの販売店にお問い合わせください。	P22
	空打ちする	空打ち防止機構が作動しない	スイッチアーム周辺のごみや異物を取除き、機械油を一滴程度注油してください。	P18
		つまった釘が射出口付近に残っている	つまった釘やごみなどを取除いてください。	P21
		ドライバブレードが摩耗している	お買い求めの販売店にお問い合わせください。	P22
		ネイルフィーダの動きが悪い	ネイルフィーダ案内溝にたまったごみや異物を取除いてください。	P22

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

- 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>